

資料 (1) 「問い」をもたせる段階

(1) 「問い」をもたせる段階

まず「生徒が主体的に読んでいく」ためには、まず生徒が内から「問い」(学習課題)をもつことが大切であり、そのことが教材をさらに読んでいきたい、情報を得たいという「読む」エネルギーを生むと考えました。そして、そうした生徒に「問い」をもたせるためには、生徒の読みの出会い(初発の感想)を教師がつかみ、生徒が今、どういう状態にあるのか、生徒の認識を探ることが必要だと思えます。

*感想については、3つの視点で書くようにしました。

- ・ 読んでの感想
- ・ 表現の仕方です思ったこと、気付いたこと
- ・ この学習を通して、考えたいこと、みんなの意見を聞いてみたいこと。

題名から内容を想像

班別の音読

感想のメモ

座席表に感想を整理



生徒一人一人の座席表を作ることは、個々の生徒の読みの状況を知る上で、大切であり、教師にとっても勉強になります。

しかし、なかなか毎時間の座席表を作るとなると大変です。そんな時には、構造表をコピーして、生徒の感想と関連するキーワードのところには生徒の氏名を書いて授業に臨んでいます。

